

地域活動情報

専修生田ボランティア

楽しく、地域に根ざした活動を行いたい!

SIV (Senshu Ikuta Volunteer) は川崎市多摩区の専修大学生田キャンパスで学ぶ学生で構成するボランティア団体で、現在 30 名が登録されています。SIV のメンバーも、教育・研究の成果を広く社会に還元することや、学生のチカラを地域との交流において発揮するなど、地域社会への発展に寄与することを旨とする「質実剛健・誠実力行」の学風を持つ同大学の学生らしい様々な活動を展開しています。

劔持さん、村松さん、浅川さん、島野さんにインタビューしました。

Q ボランティア活動を始めたきっかけはなんですか?

A 東日本大震災の後、仲間と防災ボランティア活動を行っていたのですが、大学や地元の警察から、「防犯も防災も日頃の備えが大切」との話を聞き、防災だけでなく防犯にも目を向けようと思い、防犯活動も始めました。

Q 普段の活動内容を教えてください。

A 主に大学周辺のゴミ拾い活動や地元署の警察官と一緒に防犯キャンペーンを行ったりしています。最近では、県警生活安全サポート班の指導を受けて、幼稚園児向けの寸劇形式の誘拐防止教室を行っています。

Q 誘拐防止教室で特に気を付けていることは何ですか?

A 劇では、子どもたちの注目を集められるように、ウサギの着ぐるみを着たり、子どもたちの反応をみながら劇を進めるなどの工夫をしています。実際に危険な目に合ってしまったときに役立つように、少しでも印象に残る教室を心がけています。また、子どもたちだけでなく、保護者の皆さんの防犯意識も高まってくれたらうれしいです。



Q 今後の目標は何ですか?

A メンバーが学生のみなので、なかなかスケジュールが合わず参加者が少ない状況です。もっと学内にSIVの存在を広げて参加する学生を増やしたり、他の大学にも波及していく活動を行っていきたくと思っています。



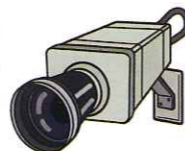
平成25年度「防犯カメラ設置補助」のご案内

★ 県では地域の防犯力向上を目的として、新たに防犯カメラを設置する団体に、設置費用(機器購入費)の補助をしています。【補助金額 1団体 8万円(上限)】

防犯カメラの補助は、現地に職員がおじゃまして、設置計画の内容(地域の犯罪発生状況、現在行っている防犯活動や設置予定場所の状況など)を伺っています。設置を計画中の段階でもお話しを伺っています。

★ 県の補助金では、防犯カメラの設置以外にも、新たに実施される「防犯パトロール事業」「登下校時の見守り活動事業」または「防犯キャンペーン(防犯教室)事業」の3事業も補助対象事業にしています。これらの事業を新たに行う場合も、お気軽にご相談ください。

問い合わせ先: 暮らし安全交通課 Tel.045-210-3517



犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

くらし安全通信

Vol.

48

平成25年3月発行

神奈川県 安全防災局 安全安心部 暮らし安全交通課

ホームページ
http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f707/



電話 045(210)1111 (内線3552・3558) FAX 045(210)8953

目次

- ・安全・安心まちづくり交流集会を開催しました
- ・お子さんと一緒に防犯対策
- ・平成24年度犯罪のない安全・安心まちづくり功労者等表彰受賞者の紹介
- ・かながわの交通安全
- ・春の全国交通安全運動
- ・自転車のマナーアップ強化月間
- ・「セーフティ・チャレンジ・かながわ」の参加者募集
- ・ひったくりが急増しています
- ・防犯パトロールの手引きの配布
- ・地域活動情報
- ・「専修生田ボランティア[SIV]」
- ・防犯カメラ設置補助のご案内

平成24年度

安全・安心まちづくり交流集会を開催しました!

本年2月2日(土)、横浜市中区にて、「安全・安心まちづくり交流集会」を開催しました。「安全で安心なまちかながわ」の実現に向けて、県内で自主防犯活動を行っている方々約170人のご参加をいただき、防犯意識の向上や防犯活動の活性化と地域の連携強化等に向けて、基調講演に続き、優良活動事例の発表と意見交換を行いました。

基調講演



日本市民安全学会会長 石附弘氏
安全・安心社会の創造に向け、「新時代における防犯リーダー像」の講演が行われました。

優良活動事例発表



学校法人鈴木学園厚木中央高等学校
若者たちから、地域の防犯活動に参加した動機、実際の活動体験の発表がありました。



太尾地区防犯連絡協議会
防犯活動拠点を中心とした地域ぐるみの防犯活動で培った、活動のノウハウの発表がありました。

意見交換



お子さんと一緒に防犯対策!

進学・進級がある4月は、子どもたちの行動範囲が急激に広がり、一人で外出したり子どもたちだけで外遊びをする機会も増加します。その一方で、わいせつ事案、つきまとい事案、声かけ事案などの、子どもたちの安全を脅かす犯罪が後を絶ちません。外出の際に、子どもたちに守ってもらいたい事項を「4つのおやくそく」にまとめました。親子で防犯対策をしっかりと行い、大切なお子さんを犯罪から守りましょう。

4つのおやくそく

- 1 かけるときは、だれとどこへいくか、なんじにかえるかをいう
- 2 ひとりではあそばない
- 3 しらないひとにはついていかない
- 4 あぶなくなったらおおごえで「たすけて!」といてにげる



平成24年度

神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり 功労者表彰・奨励賞の表彰式を実施しました。



第8回目となる今回の表彰式は、本年2月2日(土)、安全・安心まちづくり交流集会に先立ち行われました。

黒岩県知事の表彰状授与に続き、来賓を代表して久我警察本部長から祝辞をいただき、受賞者には会場から盛大な拍手が贈られました。

～受賞された方々をご紹介します～

功労者表彰 長年にわたり、犯罪のない安全・安心まちづくり活動に尽力し、その功績が特に顕著な県内で活躍されている個人又は団体に贈られる賞で、平成24年度は、4個人1団体が受賞されました。

清水 鐵夫 様	27年余にわたり、横浜市港南区において活動を展開している。現在は、港南防犯協会会長として、防犯、防災及び福祉を中心に、防犯寺子屋をはじめ、アイデア溢れる防犯活動により、小学校低学年から高齢者まで幅広い年齢層に対する防犯意識の高揚に努めている。
高橋 光也 様	27年余にわたり、横浜市港北区において活動を展開している。現在は、港北防犯指導員会会長として、警察、区役所、連合町内会等と連携を密にし、より効果的な防犯活動の企画推進や防犯広報、街頭指導等を行っているほか、県警と協働で、ひったくり防止活動を行い、発生件数の減少に貢献している。
田名地区防犯協会様	青パト活動を中心に、相模原市中央区で活動を展開している。現在は109名の登録乗務員による年460回を超える青パト活動のほか、小学校や警察と連携を密にし、情報の共有化による効果的な活動とともに、防犯に対する知識の向上にも力を入れている。
藤井 榮子 様	22年余にわたり、藤沢市鶴沼地区を中心として市内全域に活動を展開している。現在は鶴沼地区防犯協会会長として、鶴沼地区における防犯パトロール隊の結成や民間交番の設立などのほか、講習会の開催や小学校のホームルームにおける防犯啓発活動等幅広い活動により犯罪抑止に貢献している。
松浦 矩久 様	35年余にわたり、横浜市中区の歓楽街を中心に活動を展開している。現在は、伊勢佐木防犯指導員会副会長として、各種防犯イベントへの参加などの見える活動に加え、活動への協力促進や防犯意識の高揚に努めるなど、見えない活動にも尽力している。

奨励賞 犯罪のない安全・安心まちづくりのモデルとなるような実践的な活動で、地域社会への貢献度が高いと認められる県内で活動している個人又は団体に贈られる賞で、平成24年度は、1個人4団体が受賞されました。

安全・安心サポート隊様	県内屈指の歓楽街である横浜市中区の環境浄化対策のため、現役の警備員による防犯パトロールを展開している。発足当時の3社から現在は8社へと拡大しており、自主防犯活動団体や警察と連携し、環境浄化対策のみならず、小学校の登下校時の見守り活動など、幅広く活動を行っている。
岩嶋 伸幸 様	横浜市都筑区において、都筑防犯協会会長として防犯、防災、環境浄化活動の他、防犯カメラの設置促進や各団体が抱えている諸問題の解決に取り組んでいる。また、区内に事務所がある大日本プロレスや女性防犯隊、現役世代の防犯団体等を発足させるなどの活動も活発に行っている。
逗子ハイランド自治会様	高速道路の整備に伴い、空き巣が多発したことを契機に発足し、逗子市ハイランド地区を中心に活動している。発足以来継続中のパトロールにより、18ヶ月間にわたり空き巣は発生していないほか、拍子木や赤色防犯灯を活用した見える警戒やハード面対策にも力を入れるなど、精力的な活動を行っている。
西地区青少年活動ネットワーク様	横須賀市武山地区を中心に、広報車を活用して少年の集まりそうな場所や深夜スーパーへの立ち寄り警戒を実施しているほか、生徒を含む学校関係者と「ユースネット会議」を毎月開催することで情報ネットワークを構築し、様々な事案にスピーディに対応できる活動を展開している。
よこすか海辺ニュータウンソフィアステイシア自治会様	横須賀市の海浜埋め立て事業で生まれた町に誕生した団体として、市内有数の大規模商業施設や公園における様々な事案に対応するため、防犯のみならず、防災、交通安全、環境浄化など幅広く活動している。各種イベントを通じ、住民間の連携を深めており、夏休み時期には子どもたちと合同パトロールを恒例行事として行うなど、地域全体の防犯意識の醸成を図っている。

かながわの交通安全

春の全国交通安全運動が始まります!

期間:平成25年4月6日(土)~4月15日(月)の10日間

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールを守り交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。



スローガン 安全は心と時間のゆとりから
新入学児童・園児を交通事故から守ろう

自転車のマナーアップ強化月間

期間:平成25年5月1日(水)~5月31日(金)の1ヶ月間

交通ルールや交通マナーを守らない自転車利用者が大きな問題となっています。県民総ぐるみで自転車の交通事故防止運動を展開することで、自転車の安全な利用と交通事故の防止を進めます。



スローガン 自転車も のれば車のなかまいり



交通安全コンクール「セーフティ・チャレンジ・かながわ」参加者の募集

自動車運転免許保有者3人で行くチームが、6ヶ月間の無事故・無違反記録の達成にチャレンジする「県民参加型の交通安全コンクール」です。

昨年は、約1万2千チームの参加を得て、県内ドライバーの交通安全意識の向上と安全運転の励行により、交通事故発生件数の減少に寄与することができました。

第15回となる今年も、多数のドライバーの皆さんの参加をお待ちしています。

参加者募集期間: 4月16日(火)~6月30日(日)

コンクール期間: 7月1日(月)~12月31日(火)

○詳しくは、県のホームページをご覧ください。 [セーフティチャレンジかながわ](#)



ひたくりが急増しています!!

2月末現在の発生件数は207件で、前年比プラス42件です!

- ① バッグは車道の反対側に持つ
- ② 遠回りでも人通りの多い明るい道を歩く
- ③ 後ろから接近してくるバイクや自転車には注意する
- ④ 自転車の前カゴには防犯ネットをつける

風邪の予防にうがい手洗いをを行うように、犯罪の予防も習慣づけることが大切です。

～楽しく・効果的に防犯活動をしてみませんか～

安全・安心まちづくり「防犯パトロールの手引き」を配布しています。

☆地域の皆さんが、手軽に参加でき、しかも効果が高い「防犯パトロール」のノウハウを1冊にまとめました。今回は「落書き防止マニュアル」を加え、内容をさらに**パワーアップ!**

☆自主防犯活動団体の皆さんに順次お送りしますので、ご活用ください。

※県内の各警察署にも配布しています。